

総務企業委員会会議録

1. 日 時 平成23年1月14日(金曜日)
午後2時50分～午後3時58分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 安 富 法 明 委 員 長 原 田 茂 副委員長
竹 岡 昌 治 委 員 秋 山 哲 朗 (議長)委員
南 口 彰 夫 委 員 布 施 文 子 委 員
山 中 佳 子 委 員 三 好 睦 子 委 員
高 木 法 生 委 員
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員
重 村 暢 之 議会事務局長 岩 崎 敏 行 議会事務局主査
岡 崎 基 代 議会事務局係長
6. 説明のため出席した者の職氏名
村 田 弘 司 市 長 林 繁 美 副 市 長
波佐間 敏 総 務 部 長 福 田 和 司 総 務 部 次 長
倉 重 郁 二 総 務 部 財 政 課 長 田 辺 剛 総 合 政 策 部 長
奥 田 源 良 総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長 末 岡 竜 夫 総 合 政 策 部 地 域 情 報 課 長
松 野 哲 治 総 合 政 策 部 商 工 労 働 課 長

午後 2 時 5 0 分開会

委員長（安富法明君） それでは只今より総務企業委員会を開会いたします。先程の本会議におきまして本委員会に付託をされました議案 1 件につきまして審査いたしますので、よろしくお願いを申し上げます。机上にですね本会議等で資料請求がございましたサインシステム整備事業についての資料が配付されておりますので、議案の説明と合わせてですね説明をいただくことにしております。

それでは議案第 1 号平成 2 2 年度美祢市一般会計補正予算（第 7 号）を議題といたします。執行部より本委員会所管事項について説明を求めます。はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） それでは議案の説明をいたします。議案書の 1 0 ページ、1 1 ページをお開き下さい。歳出におきまして、款総務費・項総務管理費・目きめ細かな交付金事業費でございます。一番上の 0 0 1、1 1 ページでございますが、サインシステム整備事業といたしまして 5 , 3 3 2 万円を補正予算計上させていただきました。内訳といたしまして、測量設計委託料に 3 0 0 万円、それと看板等施設整備工事といたしまして 5 , 0 3 2 万円を計上させていただいております。それではこのサインシステム整備事業について説明をさせていただきます。お手元に配布いたしましたサインシステム整備事業集計表資料 1 というふうに書いてあります。これに沿って説明をさせていただきます。サインシステムこの整備事業と言いますのは、本市のキャッチフレーズであります交流拠点都市観光立市を創造するために、統一的なデザインの公共サインを体系的に整備を行うという事業でございます。これによりまして、観光客を始めといたします本市を訪れる方々が、目的地に安心して円滑に移動できるよう、景観や利便性を向上させながら、なおかつ地域資源を活かした魅力的なまちづくりを行うことを目的としたものでございます。この資料の恐縮ですけど二枚めくって頂きまして、カラーの美祢市サインシステム一覧というところがあると思います。この今のカラー刷りのところですが、この度のサインシステムで大きく種類を分けております。左上に県域案内サイン、縦型のもの。それからすぐ横にまた県域案内サイン、アーチ型のもの。これは基本的には市境の近辺で、交通安全に十分配慮してよく目立つ場所に立てるものでございます。その下になりますと誘導サイン（大型）というふうにございますが、これは字の書いてあるとおり、お車でお越しの方はこれを見て右左と目的地へ

誘導する大型のサイン。一枚めくって頂きまして次のページ、誘導サインが出ましたので下のほうに誘導サインの中・小とあります。中型・小型、大・中・小と誘導サインを分けております。大・中・小というのは情報量によって使い分けようということでございます。その上に広域案内サイン片面表示とございます。これにつきましては、本市にある道の駅おふくとみとう2箇所に設置をしようと考えております。その右に誘導サインともう一つありますが、これもアーチ型、場所によってはこのアーチ型の誘導サインを建てるということでございます。これは基本的なものでございますので、中の文言というのはその場その場に適した言葉を用いますが、見た目のイメージとしてはこの基調を統一をさせていただきたいというふうに考えております。もう一枚めくって頂きまして、本庁舎前シンボルタワーとございます。この市役所本庁舎前には、カラーを同じ基調にしたこのようなイメージのシンボルタワーを1基建てるという計画にしております。それでは一番最初のページに戻って頂きまして、平成21年度繰越分から平成25年度までの事業計画を説明させていただきます。平成21年度の繰越分、これが平成22年度に行っている事業でございますが、本庁舎前のシンボルタワー、それから広域案内のアーチ型が2箇所、それから広域案内が1箇所、誘導サインといたしまして、アーチ型が1箇所、それから中型の片面が2箇所、小型の片面が1箇所、両面が2箇所、計10箇所で、これに要する事業費を6,490万円今年度施工するものでございます。その右側に平成22年に補正と書いてありますが、これが本議会に上程させていただいておりますものでございます。圏域案内として、アーチ型が2箇所、それから広域案内の大1箇所、それから誘導の中の片面が4箇所、計7箇所で5,332万円でございます。その右側、平成23年、24、25と中の表と数字を照らし合わせて見ていただけたらと思います。合計で50箇所で総事業費として2億5,445万円というふうに計画をしております。一枚めくって頂きますと右肩に資料ナンバー資料2と書いてありますが、これが今数量申し上げましたサインシステム整備事業年次計画書に沿った各場所を言葉で明記しております。平成21年度の繰越におきましては、先程申しましたようなシンボルタワーですが、それと今度は圏域案内におきましては2箇所と申したのが、山口市方面の県道小郡三隅線直売所美東の近辺でございます。それから萩市方面にいきますと県道萩秋芳線、萩に抜ける県道でございます。ここにアーチ型を設置いたします。それから広域案内の小型として道の

駅みとうに広域案内の看板を設置いたします。それから誘導案内ですが、誘導アーチ型というふうにあります。1番に秋吉台IC下車とありますが、秋吉台IC開通し、そこから下りて秋吉台方面に向かい、ここが市道ですが市道植竹目畑線、ここにアーチ型看板を設置いたします。それから中型の片面といたしましては、十文字IC下車したその前面、それから秋吉台IC下車した前面に誘導看板、それからずーと下がりまして、小型の片面8番にカルストの湯とありますが、秋芳のカルストの湯の看板、それと両面といたしましてその下に11番に道の駅みとう国道435に道の駅みとうの入り口看板を設置いたします。それと大嶺で歴史民俗資料館の敷地内に歴史民俗資料館の看板を1基、これが21年度の繰越分でございます。右の欄が平成22年度の補正、本会議に上程させていただいている予算の施工とさせていただこうかというものでございますが、圏域案内のアーチ型といたしましては、山口市方面で国道435号線に1基、それと山陽小野田市方面で国道316号線に一基、それから広域案内といたしまして、道の駅おふくここに1基、それから誘導型の中型の片面といたしましては美祢西IC下車したところ、美祢ICを下車したところ、それからもうすぐ出来ます大田ICを下車したところ、絵堂ICを下車したところ、ここに中型の片面を設置して合計7基ということにしております。23、24、25年度の3ヶ年はまたこの表を中身を確認していただけたらというふうに思います。今言葉で書いたところがですね最後A3の美祢市全図を2枚つけております。最初の1枚目が平成21年度の繰越分、これの設置場所を図面に落としたものでございます。それと2枚目がこの度この補正予算で議案上程させていただいております平成22年度の7箇所、これを図面に落としたものでございます。サインシステムの整備事業については以上でございます。

委員長（安富法明君） ちょっと待って。予算の説明会の時に、次年度以降の予算措置なりの見通しについても明らかにされたいというふうなことお願いしちょっとけども届いてないかね。23年以降。はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 今の委員長がおっしゃったの平成23年度以降の予算措置ということであろうと思います。（発言する者あり）見通しです。今のところは平成23、24、25ともこれに即した補助金、交付金等の見通しはついておりません。（発言する者あり）はい。以上です。

委員長（安富法明君） はい、松野商工労働課長。

総合政策部商工労働課長（松野哲治君）　続きまして、同じく10ページの下段でございます。17目住民生活に光をそそぐ交付金事業費、ページをめくって頂きまして13ページの上段、15節工事請負費の内、右側説明欄の003勤労者福祉施設整備事業に138万3,000円を追加しております。これは、施設整備工事費でございます。美祢勤労者総合福祉センター通称サンワーク美祢でございます。及び美祢市勤労福祉会館のそれぞれの2階でございますトイレのうち、男女各1箇所、全部で4箇所を生活様式の様変わりや利用者の要望に応えまして、和式から洋式に改修するものでございます。なお、それぞれの施設の1階につきましては、洋式の身障多目的トイレがございますので、1階部分につきましては改修の計画をしておりません。次に、その下、004消費者問題対策事業費、印刷製本費に29万7,000円を追加しております。これは市民の皆様方が様々な消費者トラブルに巻き込まれる状況は、年間を通じて発生しておりまして、消費者問題についての意識啓発やクーリング・オフ制度の活用についての説明、またクーリング・オフを実際に出来る契約解除通知が印刷された葉書を添付したパンフレットを作成し、消費者トラブルを防ぐ市内約1万2,000世帯の全世帯に配布する費用でございます。以上でございます。

委員長（安富法明君）　倉重財政課長。

総務部財政課長（倉重郁二君）　続きまして歳入をご説明を申し上げます。予算書の8、9ページをお開き願いたいと思います。歳入、10款地方交付税・1項地方交付税でございます。今回の補正の財源といたしまして、国庫補助金を特定財源として充当するわけですが、不足分につきましては、普通交付税5,773万円を計上いたすものでございます。

委員長（安富法明君）　奥田企画政策課長。

総合政策部企画政策課長（奥田源良君）　同じく8ページ、9ページの14款国庫支出金・2項国庫補助金・6目総務費国庫補助金でございます。8節としてきめ細かな交付金1億6,423万2,000円を計上しております。これは市の人口並びに18年から20年までの3年間の普通建設事業費、あるいは18年から20年までの自主財源を基に、国が計算方法を示しております様式に基づきまして計算した交付金の金額でございます。続きまして、9節の住民生活に光をそそぐ交付金、これに2,790万4,000円を計上しております。これにつきましては人口に

よりまして計算することとなっております交付金額でございます。以上でございます。

委員長（安富法明君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございますか。

はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） とりあえず今、サンインシステム一覧表で、美祢市の入り口の案内の看板の説明若干されたんですが、旧美祢市に5箇所立っちょるいね。案内板というか観光板とか全然分からんけどシンボルタワー。これはどうするつもり。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 今の5箇所立ってる旧美祢市のシンボルタワーの件ですが、この中には明記してございませんが、何らかお色直しをしようかというふうに考えております。まだその具体案は出てはおりません。以上です。

委員長（安富法明君） はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） それこそ何が立っちょるんじゃろかと言うぐらいに、立てた当初に比べれば3年も5年もしないうちにかなり色褪せてきた。こう言う看板を立てるのは、全国的にもどこにいても、いろんな市や町でもいろんな看板が立っちょるんですね。ところが立てるときには非常にきれいで華々しく立てるが、じゃあそれが立てた年はいいいけど、2、3年後じゃ誰がどう旧美祢市の五つの看板も誰がどう手入れをしているんですかと。定期的いきちんと誰かが管理して清掃なりきちんとされてるんですかと言ったら結局当時もふにゃふにゃで終わった。ところがその当時将来にかかるランニングコストについては、建物は特にハードの面は将来にかかるランニングコストをきちんと当初から説明すべきではないかと、20年前もかなりしつこくそういう問題提起された議員がおるんですね。ところが相変わらず20年経って今も今やる予算についての説明は職員がされるが、これが立ったあと来年、再来年それから老朽化していくことにかかるランニングコストがどうかかるんかということが、これから先には必ず必要だということがきょう本会議でいろいろ言うた中の一部にある。そのことについては当然検討すべきではないか。検討されているんじやったらその資料も含めて内容を説明願いたい。本会議の時にちよろつと言うた。以上です。

委員長（安富法明君） 回答はいります。（発言する者あり）末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 大変お恥ずかしい話ですけど、今のよう

なことは想定、お見せした予算の中には想定にございました。必要であろうかというふうに考えております。以上です。

委員長（安富法明君） はい、竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） 本会議場でもですねこれは南口委員が言われた。私も言ったんですが、南口委員も言うたと思うんですね。サインシステムの提案の段階からと言う話をしたんですが、私もこれ非常に興味感じてたんです。正直言うて。他の業者がどれぐらいのものが提案に参加したのか。全然そういう情報が議会に流されていないんです。例えば採用されなかった中でも、私は今回少し取り込んでいってもですね使えるものがあるんじゃないかという気がするんですね。これがどこが取ったかもまだ分かってないと私は知ってるんですけどね。例えばこの企業さんが議員が絡んでるからあえて出さんじゃったんかねそのことは。いやなことを聞くけど。

委員長（安富法明君） 末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 今のようなことは全くございません。これも誠に失礼なことですが、タイミングを逃したと言うたらものすごく失礼なんです。それともう一つは本会議場でも市長が申しましたように、私どものほうでそれを50箇所練り上げるのにかなり時間を要しまして、市長まで報告が遅れまして、そこで誠に議員の方々にもこの説明が今になったと言うことを、大変失礼であったと思っております。そういうわけで特に故意にどこのコンサルがどうこうということは全くございません。以上です。

委員長（安富法明君） 竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） いや出さんの結論からして。出せる出せない。どっちでもいいけど。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） この今のサインシステムの最初の整備計画を作成したコンサルは、山口市の第一写真工業でございます。以上です。

委員長（安富法明君） はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） 今度のサインシステムは、ただ単純に箱があって金額を入れて、来たい人おいで箱の中に入れていう入札じゃないそいね。俗に言う提案型なんじゃあね。そうすると業界用語で言うならプロポーザル方式なん。プロポーザル方式で言えば、旧美祢市で申し訳ないけど、旧美祢市でプロポーザル方式を一番大き

な事業をやったのは来福台の100億。このときにはきちんとA案、B案、それから業者名、ジョイント組んでる業者名、全部ここの総務やったな、当時の総務の委員長誰やったか忘れたけど副委員長も忘れたけど、かろうじて当時のもの生き残っちょるけどやね。プロポーザル方式のものは必ずA案、B案とそれぞれが提案されて、市長が、市長とは限らんけど、当時の企画課長やら企画財政課長やったかな。その何故そのB案の採用に至ったかと、その経過報告がしっかりなされた。そうするとその事業全体が議員にも見えて、それで当然費用対効果も含めながら、それに取り組んで行くことの位置づけが理解されよと。ところがそういうこれから先美祢市の事業は、ましてこれを市長も言われたように10年、20年の美祢市の将来の発展を非常に位置付ける重要な役割を果たすと。特に市外県外から来られる方々にそれこそサイン、方向をきちんと示すと言った点では重要なんだと。だからそういうところのきちんとした報告が議論の前座ではないかと。これを特に合併した後の新しい美祢市のまちづくりでは、特に議会の中で美東町のことしか言わん人もおらんんじゃないかと思うぐらいに、美東町のあれがこっち向いたこっち向いたというても分からんわけ。だけど新しく新市で新しく取り込む事業については、先程言うたように将来のランニング負担も含めながら、その事業を何故発案するに至って、それで具体的にどうこうという手立ても含めて、それで業者がこういう選択に至ったと。そういう議論が地方自治体とか特に地方の議会の中で、執行部のやりとりを住民に分かりやすくすることが、公務員不信とか議員はいらんのやないかとかよその市でね。こう言うことをきちんと理解をしてもらう最も重要な内容だと。奈良市の中川市長がばかんと12月の21日にね記者会見やって、議員の口利き41件。ばあっと公表してしもうた。だから当然いろんな事業に議員が口を利いたんじゃないんかとか、職員に圧力かけたんじゃないかというのは、仕事が出るたんびにいろんな形で噂が飛ぶわけいね。それも含めてきちんと誤解がないようにするためには、今度の業者選定を含めてした説明がなけんやったら、つい出てきた、はい説明を受けた、予算はこれですと言うたら、そこだけつくような議会では、美祢市議会もこれから先はかなり早いテンポでバージョンアップしていくから。そういうことを前提に議論して行くことが必要ですよ。そのための資料を準備して下さいよということなんです。以上。

委員長（安富法明君） 南口委員、選定に至った経緯が、説明なり資料として出せ

るかと言うことでしょうか。よろしいですかそれで。

委員（南口彰夫君） この分でも例えば業者が3社じゃろうが4社じゃろうが、必ず結果を報告しちよるはずなそいね。点数制度してる自治体なら、指定管理者と同じようにA社、B社、C社とこうやりながら採点の基準がこうあって、これ情報公開条例本来ならとれるはずなんよ。なんで情報公開条例で取れば出せるものが、議会の中に出てこんのかと。（発言する者あり）

委員長（安富法明君） はい、竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） あえて出さんやった何かあるんかなと思ったから。はっきり言うてきょう今、第一写真で聞いたから分かるけど、これ議員の中に第一写真のあれがあるわけいね。はっきり言うて。しげしげと通いよったの私は見てるんじゃないけど。だから議員が我々もきょうも時間があったらですね、議会の基本条例やろうと思ってます。その中でも議員としてやっちゃいけないことやるべきことがあるはずで。あえてそういう背景があるからやらんのかというふうに穿った見方もせざるを得ないと。名前まで言うてもいいけど、名前言わんでも議員の皆さん皆わかるやろ第一写真と聞いたとたんね。出せるもんなら出して欲しいし、そしていろんな提案があったはずじゃから、その中でいいものは取っても良いんじゃないかと言う気がするんですよ。これ素晴らしい提案だと思いますよ。これほめます。内容については。

委員長（安富法明君） 執行部のほう回答が出来ますか。（発言する者あり）暫時休憩をします。

午後3時15分休憩

午後3時36分再開

委員長（安富法明君） 休憩前に続き会議を開きます。休憩前にですねプロポーザル方式によるサインシステムの選定経緯について、詳しく説明が出来ないかということで資料の提出がございましたので、この件について執行部から説明を求めます。はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 大変お待たせをいたしました。今お手元にお配りした一枚上の表が、プロポーザルを行った後の点数でございます。これは上のほうは業者名がちょっと隠させていただきましたが、イ・ロ・ハ・ニ・ホ・

へ・トというふうには、全部で7業者ほどプロポーザルに参加していただきました。左のA・B・C・D・E・F・G・H・I・J・Kとございます。これは選定委員でございます。それぞれ選定委員一方一方が1番から5番評価項目でございますが、業務への取り組み方針、観光看板の図案、それから作業、業務の遂行、見積金額と、こう言うような面で点数をつけております。その点数を総合いたしまして、一番下に総合計ということで、最終的に点数の一番高かった「へ」の964点が総合順位で1位ということで、採用された第一写真工業さんでございます。2枚目、3枚目がこのプロポーザルに対する実施要領ということで、こう言うような形で各業者へご案内をさせていただいております。以上でございます。

委員長（安富法明君） 実施要領の詳細はいいですかいね。説明が終わりました。これに対する質疑はございますか。はい、竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） 審査された方が11名ですかね。それで11名ということになるとですね、ちょっとお尋ねなんですけど、審査委員の名前はいいりませんけどね、だいたいどういう方がメンバーだったのかというのがちょっと一点知りたいんですね。それから先程もねしつこいように言いますけど、第一写真、議員がかんでるんじゃないかと言いましたけど、第一写真の勤務されてる議員さんがいらっしゃるんですね。この方が一生懸命、私は一生懸命やられたということに対しては評価するんですよ。しかしやっぱり議員というのはこういうふうに関与すべきじゃないと、常々思っております。もしやるならば所管の課には寄りつかんとやね、やるぐらいの姿勢がないと、我々も議会の基本条例を一生懸命やっていこうというときに限って、下井議員は名前言うちゃいけんやったね。ことを動いたら私はまずいと思うんですよ。その点執行部も是非今後は注意していただきたい。とりあえず審査のメンバーの構成をちょっとお聞かせ願いたいと思います。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 竹岡委員のご質問でございますが、AからKまで11名の委員でございます。委員長は林副市長が委員長をさせていただいております。それから教育長、あとの9名は部長クラスの職員が審査にあたっております。以上でございます。

委員長（安富法明君） よろしいですか。（発言する者あり）そういうことですね。はい、南口委員。

委員（南口彰夫君） この趣旨のところで、最後のそこでと言うことで、この事業で美祢市の一体感を生み出すとともに、美祢市を訪れる方の利便性の向上と満足度を高め、交流拠点都市創造の一助とするものである。こういうものではないかと言うのが私の意見なんです。ところがよく見たら最初から書いてあったんですね。と言うことなので、これが本来提案されるときには私は本会議場にこれが配付されるべきだと思ってる。これがそもそもの出発だと、この事業をやるのに。だからこれが配付されてこの度は、というところからやっぱ入るべきではないかと。それからもう一つは、こう言う箱物とかいうかハードの建物とか言うものを作るときには、必ず将来にわたるランニングコストというか、どの程度のリスクがかかってくるんかということは、例えば10年、20年の先ということになれば、まあ失礼なけどみんな市長も含め私も含め誰もおらん。次の世代にバトンタッチされるときに、その時にやったものが形でその時には古くそうになってどうこうなるわけ。じゃけど将来にわたるランニングコストも含めながら今後は地方財政については考えながら、双方が議会も含めながら考えながら協議をし結論を出していかんやいけん時代に入ってくると。これはもう国もなけんや地方自治体もお金がますますなくなっていく中に、将来の負担をどう次の世代にも含めて受け継いでいくかという議論が必要だということで、きょうは将来の資料は言いませんが、出来れば次の議会までにある程度の予測が立つのであれば、このサインシステム事業というのは度々ある程度の入札が行われながらやっていくようになるだろうと思いますから、引き続きそうした資料の提出や執行部の意見をこの議会が採決する際に一番大きな重要な内容になってくるということでは如何ですか。担当課長。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 私どもの事務方の大変抜けてる部分だったろうと思います。今のようなご意見参考にさせていただきながら、逐次いろいろ新しい取り組みの時には報告をさせてまた協議をしていただきたいというふうに考えております。以上です。（発言する者あり）

委員長（安富法明君） ほかに、よろしいですか。はい、竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） あのすいません。意見の時に言おうと思ったけど、考え方をお聞きするんで、ちょっとあれですが、先程も申し上げたようにですね、ほかの業者の皆さん方の提案でもいいところがあると思うんです。それを了解を取って採用さ

れる気はあるかないか。例えばですね「へ」と「イ」とそれから「二」この1番・2番・3番、大きく開いてるのは全部見積金額なんです。取るまいと思ってめいっぱい書いた業者もあるじゃろうし、取ろうと思って努力した業者もあるだろうが、これを仮に同じ点数でもし値段じゃないと提案だという視点から見ると、1番は満額ですから87.6、2番が修正しますと91.9、3番が84.9というような84.9じゃないもっと上がりますね、87.8ですか。そうしますとねおそらく見積金額以外の提案の中にはやっぱりすぐれたものがあると私は思うんですね。見積金額をもし同じ土俵にしたとしたらですよ。おそらく安いほうに点数が上がったと。高く入れたほうに点数が落ちたところ思うんですね。これを見ただけでも、だからへと二とイですか、この業者がどなたか分かりませんが、良い提案は話してくみ取って採用される気があるかないかだけお尋ねします。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） あくまでプロポーザルの時というのは、方針を示したりとか、最終的な成果品を示す訳じゃございません。但し今、竹岡委員がおっしゃるようなその中でも光るようなものがあるというのが見えたときには、また新たな委託料がかかるということになれば、これこそ本来転倒のような気がしますので、その辺もよく見極めながら、もう一度プロポーザルの結果を見直してみようと思います。以上です。

委員長（安富法明君） はい、竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） ちょっと待って下さいね。このとき示された総予算は6,000万か7,000万ぐらいの予算でどう事業を展開していくかという考え方を示されたんですね。その中でプロポーザル方式である提案のほうの費用じゃないんですか、見積もりが九百何万と。私が申し上げてるのは、この九百何万に対してですね目一杯とにかく出しておくという業者もあつたらうと思いますし、それから取りたいから少しでも下げようと思われた業者もあるかも知れません。何故かと言ったら、ほかの業者の方ほとんどが66点、77点とか、見積もりのところが110点満点になってる業者が落ちてると。そうするとですね、私が申し上げたいのは予算を安くしたから点数が上がったよと言うんじゃないで、中身にもうちょっといいものがあるならば、それを他に業者であろうと了解取って採用される気はありませんかと申し上げたんですが、ちょっと最初のニュアンスが違ってるんですね。誤

解がないように。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） すいません。おっしゃる意味がなかなか理解出来なくて。先程、こちらのサインシステムの集計表の中のカラーの絵で見せたところで、もう統一的なイメージがもう出来ております。ほかにもイメージだけではなくて、竹岡委員がおっしゃるように手法として優れたものが、今の見積もりを除いたところであると言うところがあれば、もう一度今のプロポーザルの結果を見直して、また上司とも相談しながら再検討させていただきたいというふうに思います。以上です。

委員長（安富法明君） よろしいですか。ほかに質疑はございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） サインシステムの整備事業年次計画表の中ですけど、広域案内の中にみとう道の駅があるんですけど、これ敷地内と書いてありますし、小なんですけど敷地内はどこなんですか。大にして欲しいです。そして公衆トイレがあるところにでかいのぱっとおいていただきたいと思うんですが、どうでしょうか。それとこれを見たときに13・14なんですけど、絵堂のところ信号のところと萩と長門に行くところあの2箇所だと思うんですけど、あそこには以前があるんですけど、以前のはどうすると言われましたかね。これについてどうなのかと言うことと。明林寺のところにT型があるんですけど、これは十文字からも柿ノ木原もありますし、明林寺前のT字型はいらないのではないかなと思うんですけど。と言うのが御坊から入るときに山口方面の誘導がしてあるんですけど、明林寺の前に行って私たちは分かるんですけど、山口はさてどっちだろうと思われる方があって、山口方面の案内板があるほうがいいんじゃないかなと思うんですが。それとアーチ型なんですけど、山口小郡の神崎のどこなんです二本木。あの辺りがないように思うんですけどどうなんでしょうか。なんか市内の中にはちかちかあるちょっと多いすぎるような感じもするんですけど、あんなこと言ったら怒られるかも分かりませんが、ちょっと肝心なところにあるのかなと思うのがあるんですがどうなんでしょうか。

委員長（安富法明君） 執行部のほうで分かりますかね。今の質疑で。はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 今の三好委員のご質問にお答えいたします。まず最初に申されました道の駅みとうの看板の件でございます。道の駅につきましては、実はこれ既設の看板、これのリニューアルというふうに考えております。ですから今ある看板を旧一市二町というような形で今書いてあったりとかするものがございますので、それを新市の一体感を持たせるために全部の一市二町が全て網羅されたような看板にするというような計画です。それと道の駅みとうにつきましては、今の入り口の看板、広域案内というよりここが道の駅みとうですよという看板をあったらどうかと言うような意味だたんじゃないかと思えます。これは一番下にですね下から2番目に小型で道の駅みとうについては入り口のところに、それとは別にここが道の駅みとうですよと言うような看板を一つつけるように考えてます。それと2番目が明林寺のこの看板ですね。実はこれはこっちが山口ですよ、こっちが宇部ですよと言う道路標識ではございません。市内にある観光地でありますとか文化財でありますとか、あとは公共施設、それがどこにあるかというのを示して、そちらに観光客の方を優しく導くというようなことを目的にしておりますので、今のイメージの中では、あっちもこっちもちょっとうっとうしいんじゃないかというような感じを受けられるかも知れませんが、どこに迷われても自分の目的地に行けるという観点で見えております。ですから先程の最後にもちょっと多すぎるんじゃないかとかそう言うのもありましたけど、そのような目で見ただけだと助かります。以上です。

委員長（安富法明君） 三好委員。

委員（三好睦子君） すいません。私の質問が悪くて、広域案内のみとう道の駅の看板ですけど、入ってすぐ左にある既存のと言われたから、桜の木があるあそののですよね。あれのリニューアルと言うことですか。あれはあまり見ないんです。だからあれを止めて、トイレに入ったときぱっと目に入るトイレがありますよね。そこへぱっとおいていただきたいなと思えます。それと二本木の埵のところはありましたっけ。（発言する者あり）山口市からの入り口ですけど。（発言する者あり）

委員長（安富法明君） 三好委員まだありますか。お気づきの点は。（発言する者あり）基本的に執行部のほうで、現状で今のような意見が出るんですが、変更は可能なわけですか。

委員長（安富法明君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 変更は可能でございます。予算に応じて今のところこことここと言うふうに私ども目星つけております。ただ私どもも十分に効果を考えて、ここでこう言う看板というふうにしておりますので、よほどそのああそうかと言うことがない限りは、プランのとおり行かさせていただければなどというふうに思います。それと先程1点ほどご質問の回答忘れておりました。今既にあるというふうなことがございましたが、見た目をすっきりさせる意味で、古い看板を撤去してきちっと整理するというようなこともこの中で行います。以上でございます。

委員長（安富法明君） ほかに質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） 質疑がないようでございます。本案に対するご意見はございますか。はい、竹岡委員。

委員（竹岡昌治君） これに限ったことじゃないんですね。今後いろんなプロポーザル方式でやられる場合、今回のこのあれを見せていただきますと、例えば見積もり予算のところは11人とも10点満点ですーといって110点、そうするとその差がですね非常に大きいんです。分かりますかね。ですから提案じゃないんですね。最後のところの差は全部料金になってます。見積もり。それをさっき私が申し上げたように、それを修正しますと入札された落札された業者が1番低くなっちゃうですね。3番目になっちゃうんです。いいですか、だったら結果的には安いほうがいいという結果が生まれるおそれがあるんで、その辺の点数の配分の仕方と言いますか、やっぱり提案の中身のほうが大事だと思うんですね。これじゃったら安けりゃいいんじゃないかと。さっき申し上げた落とす気がなかったら目一杯書いちょけば落ちんと。そう言うことになってくるよと言ってるわけ。この辺はこの件だけじゃなくて、是非今後のこうした方式を採用されるとき配点方法は、十分に私は考えて行くべきじゃなからうかと。これは指定管理者制度でも一緒だと思いますよね。かつて秋芳町がカルスト森林組合ですか、どうかお願いしたときに安富委員長の話じゃないけど、安ければいいと言うわけにはいかないと。高くてもそっちのほうがいいからそっちをお任せしたということがありました。ですから、今後のこの方式についてもそのように一つ配慮しながら、私はやっぱり進めて行くべきじゃなからうかと。この意見を申し上げまして終わりたいと思います。

委員長（安富法明君） ほかにご意見がございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） よろしいですか。それで委員さん特に反対のご意見はなかったと思うんですが、よろしいですかね。採決をしたいと思います。それではこれより議案第1号平成22年度美祢市一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） 全員異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。

以上もちまして本日の本会議で本委員会に付託されました議案1件につきましての審査を終了いたしました。それではこれにて本委員会を閉会いたします。ご協力誠にありがとうございました。お疲れでございました。

午後3時58分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成23年1月14日

総務企業委員長

安富法明